

令和 7 年 度

学校推薦型選抜学生募集要項

医 学 部

医 学 科
看護学科

学校推薦型選抜は Web 出願にて行います。

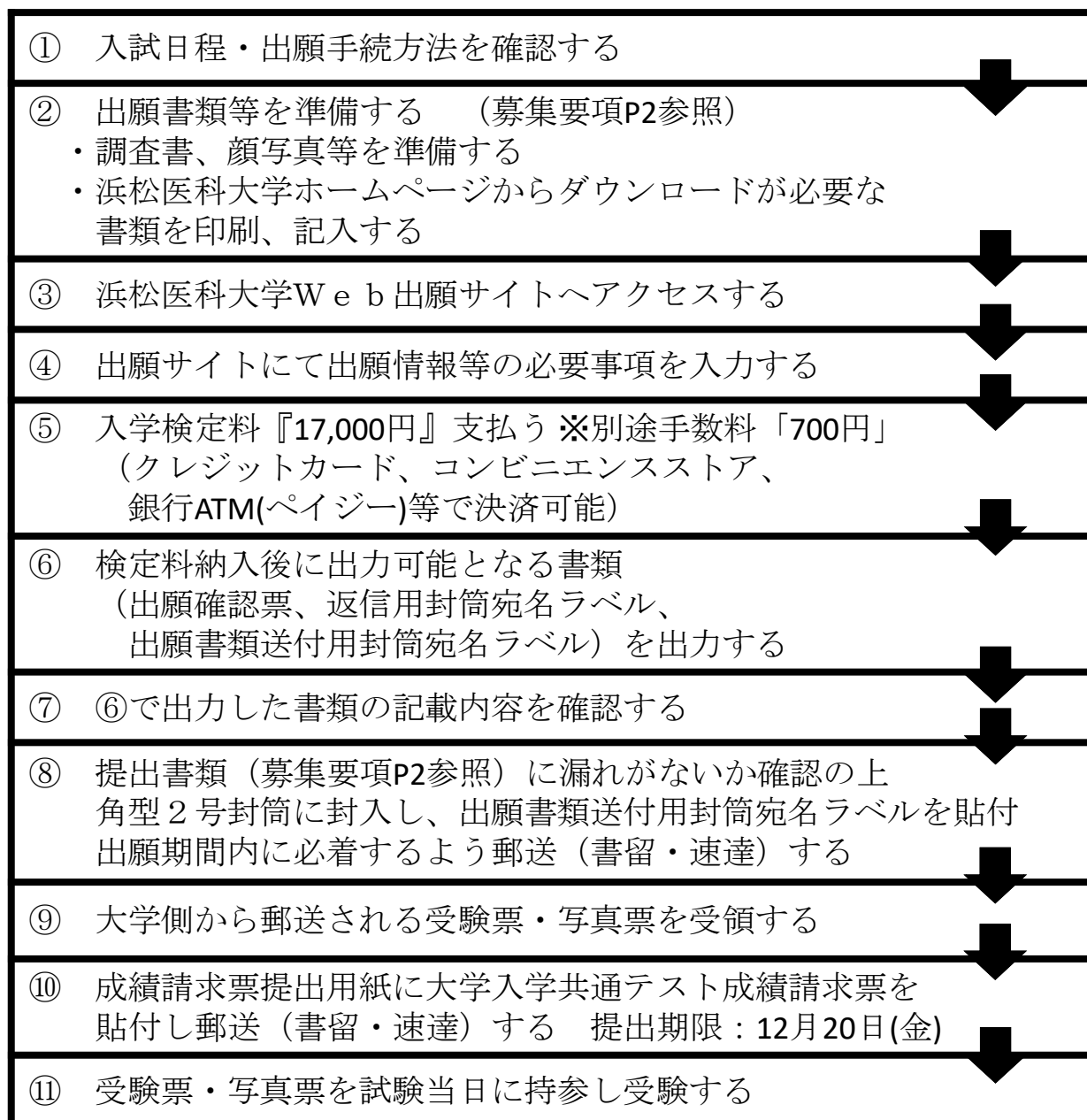


浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

目 次

I	出願手続	1
1	出願書類等受付期間	1
2	出願方法	1
3	出願書類等	2
4	出願書類等の提出先及び照会先	3
5	出願上の注意	3
<共通事項>		
II	障がい等を有する入学志願者との事前相談	4
III	入学手続等	4
1	入学手続期間	4
2	納付金	4
3	高等教育の修学支援新制度について	4
4	留意事項	4
IV	個別学力検査等結果の情報提供	5
V	個人情報の取扱い	5
VI	令和7年度入学者選抜における大学入学共通テストの配点について	5
VII	不正行為の取り扱いについて	6
【医学科】		
	医学部医学科アドミッション・ポリシー	8
	令和7年度入学者選抜における入試方法等の変更点について	10
	医学科学学校推薦型選抜募集要項	
I	募 集 人 員	11
II	出 願 資 格	12
III	推 薦 人 員	13
IV	推 薦 の 要 件	13
V	選 抜 方 法	13
VI	学力検査等の期日、時間割及び実施場所	13
VII	合 格 発 表	14
VIII	入 学 手 続	14
IX	学校推薦型選拔出願者の一般選抜での受験	14
X	旧教育課程履修者等に対する経過措置について	15
XI	静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要について	16
【看護学科】		
	医学部看護学科アドミッション・ポリシー	20
	令和7年度入学者選抜における入試方法等の変更点について	22
	看護学科学学校推薦型選抜募集要項	
I	募 集 人 員	23
II	出 願 資 格	23
III	推 薦 人 員	23
IV	推 薦 の 要 件	23
V	選 抜 方 法	24
VI	学力検査等の期日、時間割及び実施場所	24
VII	合 格 発 表	24
VIII	入 学 手 続	25
IX	学校推薦型選拔出願者の一般選抜での受験	25
X	旧教育課程履修者等に対する経過措置について	26
	災害救助法の適用地域で被災された方々の入学検定料の免除について	27

出願準備から受験までの流れ



※Webでの登録だけでは、出願は完了しません。
出願書類提出期限内に出願書類が浜松医科大学
入試課に必着するように送付してください。

【Web出願サイト】

<https://www.hama-med.ac.jp/admission/web-syutsugan/index.html>



Web 出願によくある質問 (FAQ)

Q. 紙の出願書類を大学から取り寄せて出願することは可能ですか？

A. 紙の出願書類の配付は行っていません。Web 出願システムで出願申込をしてください。
インターネットに接続する環境のない方は、セキュリティが信頼できる高等学校や公共施設等のインターネット環境を利用する等の方法で出願してください。

Q. 出願は、Web出願のみで完結しますか？

A. Web 出願のみでは完結しません。本学に郵送が必要な出願書類があります。
詳細は2ページ「3 出願書類等」をご覧ください。なお、出願書類は受付期間内に本学必着となるよう郵送する必要があります。

Q. 郵送が必要な出願書類は、遅くとも何日前に発送すればよいですか？

A. 郵便局や地域の事情・天候等にもよるため、一概に回答できません。出願書類はなるべく早めに発送してください。
郵便局 Web サイトにて、お届け日数の目安を調べることができます。

Q. 郵送が必要な出願書類は、個人で郵送してもよいですか？

A. 2 ページ①の書類は、学校推薦型選抜のため、高校等でとりまとめて郵送してください。
2 ページ②の書類は、出願者個人が郵送してください。

Q. iPhoneやAndroid等のスマートフォンやタブレット端末での出願申込は可能ですか？

A. お使いのスマートフォンやタブレットでも出願申込は可能です。
「Web出願ガイドンス よくある質問」から推奨環境をご確認ください。
<https://www.hama-med.ac.jp/admission/web-syutsugan/index.html>

Q. 氏名の漢字が入力できないのですがどうすればよいですか？

A. 氏名や住所等の個人情報の登録の際、JIS 第1水準・第2水準以外の漢字は登録することができない場合があります。その場合には、代替の文字を入力してください。
入学手続きの際、正しい漢字に訂正します。
(例) 山崎→山崎 青柳→青柳

Q. 出願登録完了後に修正があることに気付きました。どうすればよいですか？

A. 浜松医科大学入試課までお問合せください。

Q. 出願書類は持参してもよいですか？

A. 必ず郵送（書留・速達）してください。持参されても受付できません。

Q. 受験票・写真票の写真はWeb出願システムで登録できますか？

A. できません。受験票・写真票は、受付事務が完了次第、出願者に郵送します。
顔写真（2枚）を所定の欄に貼付して試験当日に持参してください。
詳細は3ページ「(5) 受験票及び写真票の送付について」をご覧ください。

I 出願手続

1 出願書類等受付期間

① Web 出願サイトから出願情報入力	Web 出願サイト入力期間・ 出願書類提出期限 令和 6 年 11 月 11 日(月) 9 時から 令和 6 年 11 月 20 日(水) 17 時必着
② 入学検定料の支払い	
③ 出願書類の印刷・郵送	

注 1 出願書類の提出は郵送に限ります。

2 上記期限以降は一切受け付けないので、郵送期間等を十分考慮して早めに送付してください。

2 出願方法

(1) 以下の①～③の順番で全て行ってください。

- ① Web 出願サイトから出願情報の入力
- ② 入学検定料の支払い
- ③ 郵送が必要な出願書類の印刷 ⇒高等学校へ提出 ⇒高等学校で取りまとめ、浜松医科大学へ郵送

注 出願書類等受付期間内に①、②及び③の全てを完了している必要があります。いずれか1つでも受付期間中に完了していない場合は、出願を受理することができませんのでご注意ください。また、不備がある場合は、受理しないことがあります。

(2) 高等学校からの提出について

浜松医科大学入試課入学試験係宛てに「書留・速達」で郵送してください。

また、数人分をまとめて送付する場合は、市販の角型 2 号封筒に一人分ずつ入れ、表に「学校推薦型選拔出願書類在中」と朱書きした別封筒に一括して封入し、「書留・速達」で郵送してください。

(3) Web 出願サイト

<https://www.hama-med.ac.jp/admission/web-syutsugan/index.html>

Web 出願サイトへは、上記 URL 又は右記二次元コードによりアクセスが可能です。

画面の指示に従って、順にご入力ください。

操作方法等詳細については、サイト内の「Web 出願 ガイダンス」を参考にしてください。



3 出願書類等 【郵送による提出が必要な出願関係書類】

(1) Web 出願ページに登録後、出力し郵送する書類（提出期限：令和6年11月20日17時必着）

1	出 願 確 認 票	該当ファイルをダウンロードしてA4用紙に印刷してください。 出願の際に入力した内容に誤りがないか確認してください。
2	返 信 用 封 筒 宛 名 ラ ベ ル	確実に受験票が受け取れる住所の宛名ラベルを使用（出願時に登録した住所以外への送付を希望する場合は、右のラベルへ住所等を記入）し、市販の長形3号封筒（120mm×235mm）に貼付し、410円分の切手を貼ってください。 ※返信用封筒の封はしないこと。
3	出願書類送付用封筒 宛 名 ラ ベ ル	該当ファイルをダウンロードしてA4用紙に印刷してください。 出願の際に入力した内容に誤りがないか確認してください。 出願書類及び注意事項を確認のうえ、市販の角型2号封筒（240mm×332mm）に貼り付けし、郵送が必要な書類が全て封入されていることを確認したのち、「4 出願書類等の提出先及び照会先」へ郵送してください。

①

(2) 本学ホームページよりダウンロードし、記入したのち郵送する書類

<https://www.hama-med.ac.jp/admission/web-syutsugan/index.html>

（提出期限：令和6年11月20日17時必着）

1	推 薦 書	本学所定の様式により学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
2	志 願 理 由 書	本学所定の様式によります。 様式をダウンロードして、作成してください。
3	同 意 書 (地域枠のみ)	様式をダウンロードして、作成してください。

(3) その他、郵送が必要な出願書類等（提出期限：令和6年11月20日17時必着）

1	調 査 書	文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
---	-------	---

(4) 出願後、郵送が必要な出願書類等（提出期限：令和6年12月20日）

②

1	大学入学共通テスト 成 績 請 求 票 及び 大学入学共通テスト 成績請求票提出用紙	大学入試センターから交付される「令和7大学入学共通テスト成績請求票/国公立推薦選抜用」を「大学入学共通テスト成績請求票提出用紙」の所定欄に貼付し「4 出願書類等の提出先及び照会先」へ郵送してください。 「大学入学共通テスト成績請求票提出用紙」は、出願受付後、受験票・写真票とあわせて本学から郵送します。
---	--	--

注 1 ①の出願書類は出願書類提出期限（11月20日17時必着）までに提出してください。

②の出願書類は大学入試センターより、大学入学共通テスト成績請求票が届き次第提出してください。

2 出願書類等に不備がある場合は、受理しないことがあります。

3 出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。

4 Web 出願システム入力時の氏名欄には、大学入学共通テスト受験票に印刷されている氏名（漢字）を入力してください。

氏名の漢字が登録エラーになる場合には代替の漢字を入力してください。入学手続きの際、正しい漢字に訂正します。

5 出願後、転居し住所が変更した場合は、入試課までご連絡ください。

(5) 受験票及び写真票の送付について

受験票及び写真票は、受付事務が完了次第、受験上の留意事項等とあわせて出願者に郵送します。顔写真（注 1）を所定の欄に貼付して試験当日に必ず持参してください。なお、受験票と写真票は切り離さないでください。

注 1 無帽・正面・上半身・縦 4 cm×横 3 cmの出願前 3 か月以内に撮影した写真で、受験時に眼鏡を使用する人は、眼鏡を使用して撮影してください。

2 令和 6 年 12 月 2 日（月）までに到着しないときは、浜松医科大学入試課へお問い合わせください。

(6) 検定料納入について

入学検定料：17,000円（なお別途手数料（700円）は振込人負担です。）

出願データ登録完了メール（入学検定料の支払い用）に記載の検定料お支払いサイト URL にていずれかの支払い方法を選択し、納入手続きを行ってください。

(7) 入学検定料の免除について

本学では、災害救助法適用地域で被災された方等の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特例措置を講じています。

詳細は 27 ページの「災害救助法の適用地域で被災された方々の入学検定料の免除について」をご覧ください。

上記により、入学検定料免除の申請を行う場合は、出願前に浜松医科大学入試課までご連絡ください。

(8) 入学検定料の返還について

出願書類不備等により受理されなかった場合については、入学検定料から振込手数料を差し引いた金額を返還します。該当者には、請求方法等を別途通知します。

4 出願書類等の提出先及び照会先

〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号

浜松医科大学入試課入学試験係

電話 053-435-2205 メールアドレス nyushi@hama-med.ac.jp

電話による問い合わせは、**原則として志願者本人**が行ってください。

5 出願上の注意

(1) 提出後は、記入事項を変更することはできません。修正が必要な場合は浜松医科大学入試課まで照会してください。

(2) 事実を隠したり、偽りを記入した場合は、合格発表後であっても合格を取り消すことがあります。

(3) 「氏名」及び「生年月日・性別」の各欄は、必要事項をもれなく記入してください。

大学入学共通テスト受験票に印刷されている氏名（漢字）を入力してください。

氏名の漢字が登録エラーになる場合には代替の漢字を入力してください。入学手続きの際、正しい漢字に訂正します。

(4) 出願後、転居し住所が変更した場合は、浜松医科大学入試課までご連絡ください。

(5) 住所は、都道府県から番地、建物名、室番等まで正確に記入してください。

<共通事項>

II 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する人で、障がい等のため、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする場合は下記のとおり申し出てください。

なお、配慮を決定するにあたり本学において志願者又はその立場を代弁し得る者との面談等を行うことがあります。

(1) 期限 令和6年10月4日（金）

なお、不慮の事故等で期限後に相談が必要になった場合は、できるだけ早く3ページの「I 4 出願書類等の提出先及び照会先」を参照の上、本学入試課に連絡してください。

(2) 申出方法

下記の事項を記載した受験上の配慮等申請書（様式は任意）及び添付書類（※）を本学入試課に提出してください。

【申請書に記載する事項】

- ア 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- イ 出身学校名及び卒業又は卒業見込の時期（年、月）
- ウ 志望学科及び募集区分名（医学科学学校推薦型選抜、看護学科学学校推薦型選抜）
- エ 障がい等の種類及び程度
- オ 受験上の配慮を希望する内容（簡潔に）
- カ 修学上の配慮を希望する内容（簡潔に）
- キ 出身学校在学中に配慮されていた事項
- ク その他参考になるとと思われること

（※）添付書類として令和7年度大学入学共通テストにおける「受験上の配慮事項決定通知書（写）」、医師の診断書、身体障害者手帳（写）等配慮決定に参考となる資料を提出してください。

III 入学手続等

入学手続書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

合格者は、入学手続書類を次の入学手続期間内に必着するよう書留速達で送付してください。

入学手続完了後、提出書類及び入学料は返還できません。

1 入学手続期間

令和7年2月13日（木）から令和7年2月19日（水）まで（大学必着）

2 納付金

入 学 料		282,000 円（令和6年度実績）
授 業 料	前期分	267,900 円（令和6年度実績）
	（年 額）	535,800 円（令和6年度実績）

授業料は、入学後に納付していただきます。

納付金の改定が行われた場合は、改定後の金額を適用します。

3 高等教育の修学支援新制度について

文部科学省では、しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、令和2年4月から高等教育の修学支援新制度を実施しています。

詳細は文部科学省ホームページ(URL: https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/)をご覧ください。

4 留意事項

- (1) 本学の学校推薦型選抜に出願した人は、他の国公立大学の学校推薦型選抜には出願できません。
- (2) 学校推薦型選抜合格者となった人は、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は

- 得られません。
- (3) 合格者が入学手続完了後、高等学校を卒業できない事態に至った場合には、入学許可を取り消します。
 - (4) 入学の確約に違反した場合は、翌年度以降の当該高等学校からの推薦を受理しないことがあります。
- ただし、合格後特別の事情が生じ、学校長から「推薦入学辞退願」が提出され、本学が許可した場合は、この限りではありません。
- (5) 提出書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すと同時に、翌年度以降の当該高等学校からの推薦を受理しないことがあるので十分注意してください。
 - (6) 受験票は、入学手続きの際にも必要となるので、紛失したり汚損したりすることのないように大切に保存してください。

IV 個別学力検査等結果の情報提供

情報提供は、別途定められた期間に手続きをした人について行います。手続期間及び情報提供方法は10月下旬に本学ホームページ上でご案内します。

(URL: <https://www.hama-med.ac.jp/admission/index.html>)

V 個人情報の取扱い

出願に伴い提出された個人情報については、以下のとおり取り扱います。

- 1. 個人情報については「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人浜松医科大学個人情報管理規程」に基づいて取り扱います。
- 2. 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続き業務、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
- 3. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- 4. 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請、保険関係等）、③授業料徴収、④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。
- 5. 上記2. 及び4. の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供します。

VI 令和7年度入学者選抜における大学入学共通テストの配点について

大学入学共通テストの配点については、医学科は13ページ、看護学科は24ページをご確認ください。

Ⅶ 不正行為の取扱いについて

試験室において、不正行為※若しくは監督者の指示に従わない行為をした者には、監督者が退室を命ずることがあります。不正行為と判断された場合は、それ以後の受験はできなくなります。

なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

※不正行為とは、次の行為をいいます。

- (ア) 志願者が受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼付することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- (イ) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること。他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (ウ) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (エ) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- (オ) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (カ) 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (キ) 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- (ク) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類を使用すること。
※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。
（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、事前申請が必要です。）
- (ケ) 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同様です。

- (ア) 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書類等をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていること。
- (イ) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (ウ) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (エ) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (オ) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (カ) その他、試験の公正性を損なうおそれのある行為をすること。

医学部 医学科

建学の理念

第1に優れた臨床医と独創力に富む研究者を養成し、第2に独創的研究並びに新しい医療技術の開発を推進し、第3に患者第一主義の診療を実践して地域医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康と福祉に貢献する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

医学部医学科では、本学の建学の理念を尊重し、将来、臨床医や医学研究者として社会に貢献できる以下の人材を求めており、志願者の資質と能力を総合的に評価して選抜します。

1. 医学を学ぶために必要な基礎学力と応用できる資質を有する人。
2. 生涯を通して学修する意欲と向上心を有する人。
3. 他者への思いやりと協調性、倫理観を有し、社会的規範に基づく行動がとれる人。
4. 自然科学への好奇心が旺盛で、豊かな創造力と論理的思考能力を有する人。
5. 国際社会や地域社会の情勢に関心を持ち、社会的要請に応えようとする意欲がある人。

入学者選抜の基本方針

アドミッション・ポリシーに沿った人材を選抜するために、医学科では、一般選抜、学校推薦型選抜、海外教育プログラム特別入試を実施しています。また、医学以外の学問分野を経験した人を対象に2年次への学士編入学試験を実施しています。

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）
前期日程は、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接及び調査書、後期日程は、大学入学共通テスト、小論文、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
2. 学校推薦型選抜
学校推薦型選抜は、大学入学共通テスト、小論文、適性検査、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
3. 海外教育プログラム特別入試
海外教育プログラム特別入試は、小論文、適性検査、面接、成績証明書、推薦書及び志願理由書に加えて各国の教育制度による国家試験等の統一試験により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
4. 第2年次編入学試験
第2年次編入学試験は、個別学力検査、小論文、面接、成績証明書、推薦書及び志願理由書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学科では高等学校等までの各教科において、医学・医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力と応用力を身につけていることが望まれ、かつ全人的教育を受けるべく素養を身につけていることが不可欠です。その中でも、特に以下の能力を身につけることを望みます。

1. 国語については、日本語を正確に理解し自らを適切に表現する能力と、他者の考えを正しく理解する能力
2. 地理歴史・公民については、国際社会において主体的に生きるという自覚を持ち、良識ある公民として行動する能力
3. 数学については、基礎的知識の理解と習得に加え、事象を数学的に表現して考察する能力と、数学的論拠に基づいて判断する能力
4. 理科については、自然科学全般に関して深い理解と洞察力を持ち、事象を科学的思考に基づいて判断する能力
5. 英語については、積極的に国際社会の人々とコミュニケーションを図ろうとする意識を持ち、論理の展開や表現方法を工夫して、自分の意見を適切に伝えるコミュニケーション能力
6. 情報については、科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

優れた臨床医及び医学研究者を育成するために、医学部医学科の教育目的・教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施し、学修成果を評価します。

1. グローバル・スタンダードに準拠した医学教育を行うために、教養教育、基礎医学教育、臨床医学教育を統合したカリキュラムを編成し、体験学習や臨床実習を通じて知識と臨床技能の修得を可能にする。
2. 自律的学修能力と応用能力を養うために、情報リテラシー教育、人間科学ゼミナール、PBL チュートリアル教育、基礎配属、診療参加型臨床実習、医療推論講習を通じて、問題発見・解決能力、臨床推論能力の向上を図る。
3. 患者中心の医療を行うために、教養教育、行動科学教育、医療倫理教育、体験学習、診療参加型臨床実習、医療安全教育を通じて、豊かな人間性と高い倫理観を培うとともに、コミュニケーション能力や協調性を育む。
4. 生命科学教育、基礎医学教育、臨床医学教育、光医学をはじめとする先端医学教育を通じて、深い洞察力と科学的探究心を育成する。
5. グローバル化に対応した教育課程を通じて、国際的視野に立って活動できる人材を育成するとともに、社会医学教育や地域医療教育を通じて、地域社会に貢献するための能力を育む。

学修成果については、各科目のシラバス「成績評価」欄に記載されたとおり、責任教員が筆記試験やレポート、授業態度等で評価します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医学部医学科の教育課程において、以下の資質と能力を身につけ、学修目標に達したと認められる者に学士（医学）の学位を授与します。

1. 専門知識と技能
医学に関する基本的な知識と技能を身につけている。
2. 自律的学修能力と応用能力
最新の知識を習得する習慣を身につけている。
医学における問題を抽出し、必要な情報を収集・分析して解決策を見出すことができる。
3. 豊かな人間性と高い倫理観
豊かな人間性、高い倫理観及びコミュニケーション能力を身につけ、患者中心のチーム医療を実践できる。
4. 科学的探究心
深い洞察力を身につけ、論理的思考ができる。
光医学をはじめとする先端医学の基礎を理解し、その科学的意義を説明できる。
5. 社会貢献力
国際社会や地域社会に貢献するために必要な資質を身につけている。

令和7年度入学選抜における入試方法等の変更点について

①大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の変更

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目について、下記のとおり変更します。

教科	科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	左の5科目のうちから1科目を選択
公民	『公共、政治・経済』 『公共、倫理』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』	必須
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須
理科	『物理』 『化学』 『生物』	左の3科目のうちから2科目を選択
外国語	『英語』（リスニングを含む。）	必須
情報	『情報Ⅰ』	必須

※詳細は、12 ページ「Ⅱ 出願資格」を参照してください。

②大学入学共通テストと個別試験等の配点の変更

大学入学共通テストと個別試験等の配点について、下記のとおり変更します。

区 分	国語	地 歴	公 民	数学	理科	外国語	情報	小論文	適性検査	面接	合 計
大学入学 共通テスト	200	100		200	200	200	50	—	—	—	950点
個別試験	—	—		—	—	—	—	100	300	150	550点

※詳細は、13 ページ「Ⅴ 選抜方法」を参照してください。

令和7年度学校推薦型選抜学生募集要項

医学部医学科

I 募集人員

医学部医学科の出願区分には次の2種類を設定し、いずれで出願しても同一の選抜方法により実施します。

① 一般枠

医師や医学研究者等を目指す一般的な出願区分です。静岡県医学修学研修資金の貸与を前提としません。

② 地域枠

静岡県での将来の医療を担う強い意志を持ち、静岡県医学修学研修資金の貸与（6年間）を前提とする場合の出願区分です。卒業前は「キャリア形成卒前支援プラン」に基づき、県等が実施する地域医療に関するセミナー、イベント等に参加いただき、卒業後は「静岡県キャリア形成プログラム」に沿った卒後臨床研修及び診療業務への従事をしていただくことになります。

入試区分	募集人員		
	一般枠	地域枠	合計
学校推薦型選抜	17名	8名	25名

※ 募集人員には、海外教育プログラム特別入試若干名を含みます。

※ 募集人員は、国及び静岡県の医師確保対策の計画等により変更になる可能性があります。確定次第、本学ホームページ等でお知らせします。

注 1 地域枠の出願者であっても、成績によっては一般枠としての合格となることがあります。その場合は、合格通知の際に別途お知らせします。

2 地域枠において成績が水準に満たない場合には、地域枠の定員が満たない場合があります。

医学科

Ⅱ 出願資格

いずれの出願区分も、出願者の出身地及び出身高等学校等所在地による制限はありません。

【一般枠】

高等学校（日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を含みます。以下同じ。）若しくは中等教育学校（以下「高等学校」という。）を令和7年3月卒業見込みの人〔留学（学校教育法施行規則第93条に該当する者）又は単位制による課程（単位制高等学校規程に該当する人）により令和6年度途中で高等学校を卒業した人を含みます。〕で、令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、かつ、「Ⅳ 推薦の要件」のすべての要件を満たす人。

学科	教科	科目	科目選択の方法	科目数
医 学 科	国語	『国語』	必須	6教科 8科目
	地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	左の5科目のうちから1科目を選択	
		公民		
	数学	『数学Ⅰ、数学A』	必須	
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』	必須	
	理科	『物理』 『化学』 『生物』	左の3科目のうちから2科目を選択	
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	必須	
	情報	『情報Ⅰ』	必須	

注 1 地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を合否判定に利用します。したがって、本学が指定した科目以外の科目（『地理総合／歴史総合／公共』）を「第1解答科目」として受験した場合、本学への出願資格は「なし」となりますので注意してください。

2 旧教育課程の経過措置は、15 ページ「X 旧教育課程履修者等に対する経過措置について」を参照してください。

【地域枠】

【一般枠】に加え、次に該当する者

静岡県医学修学研修資金の貸与（6年間）を受け、卒業前は「キャリア形成卒前支援プラン」に基づき、県等が実施する地域医療に関するセミナー、イベント等に参加することができる人。卒業後は「静岡県キャリア形成プログラム」に沿った卒後臨床研修及び診療業務への従事が確約できる人。

静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要については16ページ、キャリア形成卒前支援プランについては17ページ、静岡県キャリア形成プログラムについては18ページを参照してください。

※地域枠に関連する各種制度の詳細は、下記のふじのくに地域医療支援センターホームページ又は問合せ先にご確認ください。

《ふじのくに地域医療支援センターホームページ》

<https://fujinokuni-doctor.jp/igakuse/shogakukin-gaiyou.html>

《静岡県医学修学研修資金貸与制度に関する問合せ先》

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6

静岡県健康福祉部地域医療課医師確保班

TEL：054（221）2868 E-mail:chiikiiryou@pref.shizuoka.lg.jp

Ⅲ 推薦人員

学校長が推薦できる人数は、**1校につき5名以内**とします。

Ⅳ 推薦の要件

- (1) 本学医学部医学科のアドミッション・ポリシーに該当する人
- (2) 高等学校における調査書の学習成績概評がA段階（全体の評定平均値が5.0～4.3）に属し、人物が優秀、健康であり、学校長が責任をもって推薦できる人
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる人

出願手続については、募集要項1ページをご確認ください。

Ⅴ 選抜方法

- (1) 大学入学共通テスト、小論文、適性検査、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

また、本学個別試験において、いずれかの成績が著しく悪い場合は不合格とすることがあります。

- (2) 配点

区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	適性検査	面接	合 計
大学入学 共通テスト（注）	200	100		200	200	200	50	—	—	—	950点
個別試験	—	—		—	—	—	—	100	300	150	550点

注 1 大学入学共通テストの外国語（英語）は、リーディング100点、リスニング100点をリーディング150点、リスニング50点の200点満点に換算します。なお、リスニングを免除された場合は、リーディングを200点満点に換算とします。

2 大学入学共通テストの情報は、得点を50点満点に換算します。

3 旧教育課程の経過措置は、15 ページ「X 旧教育課程履修者等に対する経過措置について」を参照してください。

Ⅵ 学力検査等の期日、時間割及び実施場所

- (1) 期日・時間割

期 日	時 間	実施項目	備考
令和7年 2月1日（土）	9:30 ～ 11:30	適性検査	問題を発見し、これを理解して発展させ、論理的解決に導く能力を見るものです。それには、自然科学の素養等が含まれます。
	13:00 ～ 14:20	小 論 文	主として物事の判断、論理的思考、解決等の能力を評価するものです。
令和7年 2月2日（日）	別途通知	面 接	面接とプレゼンテーションにより、将来、医学・医療に従事する人として活躍できるかどうかの適性を評価します。

- (2) 実施場所

浜松医科大学（浜松市中央区半田山一丁目20番1号）

- (3) 留意事項

ア 面接試験における集合時刻については、各人で相違するため別途通知します。

イ 試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので、十分な余裕をもって出かけてください。また、天候不良や事故等により、利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には、受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。

ウ 定期運行している交通機関の事故等により、各試験で定められた集合時間に間に合わない場合は、直ちに、浜松医科大学入試課（電話053-435-2205、2216）に連絡するとともに、交通機関において、これを証明する書類の交付を受けてください。

エ 試験開始時刻から30分以上の遅刻者の受験は認められません。

なお、上記ウによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。

Ⅶ 合格発表

令和7年2月12日（水）17時（予定）

本学講義実習棟前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、令和7年2月12日（水）以降に合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

また、本学ホームページ上でも合格者の受験番号を掲示します。

（URL: <https://www.hama-med.ac.jp/admission/index.html>）

なお、電話等による照会には一切応じません。

Ⅷ 入学手続

入学手続書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

合格者は、入学手続書類を次の入学手続期間内に必着するよう「書留速達」で入学手続きを行ってください。

入学手続完了後、提出書類及び入学料は返還できません。

(1) 入学手続期間

令和7年2月13日（木）から令和7年2月19日（水）17時まで（大学必着）

(2) 納付金

入 学 料		282,000 円（令和6年度実績）
授 業 料	前期分	267,900 円（令和6年度実績）
	（年 額）	535,800 円（令和6年度実績）

授業料は入学後に納付していただきます。

納付金の改定が行われた場合は、改定後の金額を適用します。

Ⅸ 学校推薦型選拔出願者の一般選抜での受験

(1) 大学が定める大学入学共通テストの教科・科目を受験した人に限り、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。

(2) 本学の一般選抜を受験しようとする場合は、本学が定める大学入学共通テストの教科・科目を受験した人に限り可能です。受験を要する教科・科目（旧教育課程履修者等に対する経過措置を含む）及びその他の詳細については、「令和7年度浜松医科大学一般選抜学生募集要項」（令和6年10月下旬公表予定）を参照してください。

ただし、出願期間は学校推薦型選抜合格発表より前になりますのでご注意ください。

X 旧教育課程履修者等に対する経過措置について

令和7年度大学入学共通テストにおいては、平成30年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程（以下「新教育課程」という。）に対応した出題とすることに伴い、新教育課程以外を履修した者（以下「旧教育課程履修者等」という。）に対し、地理歴史、公民、数学、情報については経過措置として、旧教育課程による出題科目を出題することとしています。

旧教育課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

学科	教科	科目	科目選択の方法
医 学 科	国語	『国語』	必須
	地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『旧世界史B』、『旧日本史B』 『旧地理B』	左の12科目のうちから1科目を選択
	公民	『公共、政治・経済』 『公共、倫理』 『旧現代社会』、『旧倫理』 『旧政治・経済』、 『旧倫理、旧政治・経済』	
	数学	『数学Ⅰ、数学A』 『旧数学Ⅰ・旧数学A』	左の2科目のうちから1科目を選択
		『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』	左の2科目のうちから1科目を選択
	理科	『物理』 『化学』 『生物』	左の3科目のうちから2科目を選択
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	必須
	情報	『情報Ⅰ』 『旧情報』	左の2科目のうちから1科目を選択

XI 静岡県医学修学研修資金貸与制度（地域枠）の概要について

静岡県での将来の医療を担う強い意志を持ち、静岡県医学修学研修資金の貸与（6年間）を前提とする場合の出願区分です。

地域枠入学者には、在学中は「キャリア形成卒前支援プラン」が、卒業後は「静岡県キャリア形成プログラム」が適用され、卒業後9年間、県が指定する公的医療機関等で臨床研修及び診療業務に当たることにより、貸与を受けた静岡県医学修学研修資金の返還が免除されます。

※ 「キャリア形成卒前支援プラン」は次ページを、「静岡県キャリア形成プログラム」は次々ページを参照してください。

1 対象者要件

浜松医科大学の学校推薦型選抜又は一般選抜募集要項に示す出願資格のうち「地域枠」に該当する者。

2 提出書類

出願時に、「I 3 出願書類等(2)」(2ページ)に示す出願書類(同意書)を提出。

3 修学資金貸与額

年間240万円(1年分を3期に分け、貸与されます。) ※総額1,440万円

4 貸与期間

6年間(必須)

5 貸与条件

(1) 静岡県内の地域医療に貢献したいという意志を持ち、卒業後9年間(貸与期間の1.5倍の期間)を「静岡県キャリア形成プログラム」に沿って、県が指定する公的医療機関等で卒業後臨床研修及び診療業務に従事すること。

(2) 従事期間は9年間であり、臨床研修の2年間を除く7年間のうち4年間は、医師少数区域及び医師少数スポットにある病院に勤務すること。

・「医師少数区域」及び「医師少数スポット」は、将来勤務することになる時点の状況に応じて、静岡県保健医療計画に記載されます。

・貸与期間中に、静岡県医学修学研修資金貸与を辞退することは、原則として認められません。
また、留年した場合には、留年に係る期間は貸与を受けることができません。

6 返還免除の条件

以下の(1)～(3)の要件をすべて満たしたときに、貸与した静岡県医学修学研修資金全額の返還が免除されます。

(1) 大学卒業後、2年以内に医師免許の登録を完了すること。

(2) 医師免許の登録後、直ちに、初期臨床研修を開始すること。

(3) 「静岡県キャリア形成プログラム」に基づき9年間、静岡県の指定する医療機関で勤務すること。

7 貸付手続

入学後に本学を通して静岡県と手続きを行います。なお、貸付には連帯保証人が2人必要です。

出願にあたっては、連帯保証人予定者をあらかじめ決めておいてください。(連帯保証人2名は別に独立して生計を営む者)

静岡県キャリア形成卒前支援プラン

静岡県では、地域医療へ貢献する意思を有する医学部の学生に対して、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援をすることを目的として、「静岡県キャリア形成卒前支援プラン」を策定しました。

以下の対象者は、「静岡県キャリア形成卒前支援プラン」に基づき、県等が実施する地域医療に関するセミナー、イベント等に参加する必要があります。

○対象者

- (1) 静岡県地域枠で入学した学生
- (2) 自治医科大学の学生
- (3) キャリア形成プログラムの適用について同意した学生

○プランの内容

大学や医療機関等と連携しながら、地域医療に関する実習や講義の支援・定期的な勉強会の開催など、将来従事する地域と接する機会を提供したり、地域医療に従事する意識の向上を図ります。

キャリア形成卒前支援プラン(浜松医科大学)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
講義 勉強会	地域医療に関する講義、講演					
見 学	病院見学ツアー（静岡県主催、年二回程度）					
説明会等	臨床研修病院・専門研修病院合同説明会（静岡県主催、年2回）					
	ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ 夏季セミナー（静岡県主催、年1回）					
実 習		医学 概論	健康 社会 医学		家庭医療学	
情報発信	メールマガジンの配信（毎月1回以上） 【医師やリクレーターからのメッセージ等を配信】					
ネットワー ク 支援	医学修学研修資金利用者意見交換会（随時）					
	医学修学研修資金制度説明、個別相談（随時（オンライン可））					

静岡県キャリア形成プログラム（基本プログラム）

①～③のいずれのコースについても、以下を要件とする。

- ・ 臨床研修及び専門研修は、県内病院が基幹となるプログラムにて実施する。
- ・ ③・④の計7年間のうち4年間は、医師少数区域及び医師少数スポットにある病院に勤務する。（要件の詳細は各コース参照）
- ・ 県内の大学病院（本院、本院以外の病院を問わず）に勤務する期間は最長5年間とする。

注）キャリア形成プログラムの内容は、今後、専門研修の在り方等の変化などにより修正される場合があります。必ずふじのくに地域医療支援センター「静岡県キャリア形成プログラム」

URL（<https://fujinokuni-doctor.jp/careerpro.html>）をご確認ください。

① 専門コース

（サブスペシャリティ領域の専門研修まで行い、将来は地域の中核的な病院で指導的立場として勤務することを目指すコース）

臨床研修 ① 2年	専門研修① 基本領域 ② 3～4年	専門研修② サブスペシャリティ領域 ③（9-①-②）年	【義務年限修了後】 必要に応じて 専門研修を継続
	← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →		

※ ②・③の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（基本領域、サブスペシャリティ領域）の基幹施設または連携施設とする。

② 基本コース

（サブスペシャリティ領域がない診療科またはサブスペシャリティ領域がある診療科で基本領域までの専門医資格取得を目指し*、地域医療への従事を目指すコース）

* 内科で基本領域のみの専門医資格取得を目指す場合は③地域密着型コースとなる。

臨床研修 ① 2年	専門研修 基本領域 ② 3～5年*	県内病院勤務 ③（9-①-②）年	【義務年限修了後】 特に規定なし
	← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →		

※ ②の最長は皮膚科の5年（サブスペシャリティ領域なし）、他の18領域は3～4年

※ ②の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（基本領域）の基幹施設または連携施設とする。

③ 地域密着型コース

（基本領域のうち内科または総合診療科の専門医資格取得を目指し、へき地等に位置する病院・診療所*を含む、より地域に密着した医療（家庭医等）への従事を目指すコース）

※ へき地等に位置する医療機関：静岡県保健医療計画 第5章 第3節の「3 へき地の医療」に記載された「へき地病院・へき地診療所」、「準へき地病院」等

臨床研修 ① 2年	専門研修 基本領域 ② 3年	県内病院勤務 ③ 4年	【義務年限修了後】 特に規定なし
	← うち、4年間は医師少数区域で勤務 →		

※ ②の期間に勤務する病院は、一般社団法人日本専門医機構が認定する専門研修プログラム（内科、総合診療科）の基幹施設または連携施設とする。

医学部 看護学科

建学の理念

第1に優れた臨床医と独創力に富む研究者を養成し、第2に独創的研究並びに新しい医療技術の開発を推進し、第3に患者第一主義の診療を実践して地域医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康と福祉に貢献する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

医学部看護学科では、人間の生命、人間としての尊厳を重んじる倫理観と豊かな人間性、科学的知識に裏付けられた看護実践の能力を持つ看護者の育成を目指した教育を行っています。これからの看護を担うことができる以下の人材を求めています。

1. 看護学を学ぶために必要な基礎学力と応用できる資質を有する人。
2. 生涯を通して学修する意欲と向上心を有する人。
3. 他者への思いやりと協調性、倫理観を有する人。
4. 科学的好奇心が旺盛で、論理的思考能力を有する人。
5. 社会の情勢に関心を持ち、人々の健康・福祉のために貢献する意欲がある人。

入学者選抜の基本方針

アドミッション・ポリシーに沿った人材を選抜するために、看護学科では、一般選抜、学校推薦型選抜、海外教育プログラム特別入試及び社会人入試を実施しています。また、看護系大学・短期大学・専修学校の卒業者等を対象として3年次編入学試験を実施しています。

1. 一般選抜（前期日程）
一般選抜（前期日程）は、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
2. 学校推薦型選抜
学校推薦型選抜は、大学入学共通テスト、小論文、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
3. 海外教育プログラム特別入試
海外教育プログラム特別入試は、小論文、面接、成績証明書、推薦書及び志願理由書に加えて各国の教育制度による国家試験等の統一試験により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
4. 社会人入試
社会人入試は、小論文、面接、調査書、推薦書及び志願理由書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
5. 第3年次編入学試験
第3年次編入学試験は、個別学力検査、面接及び成績証明書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。

大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学科では、高等学校等までの各教科において、看護学を学ぶための基礎的な知識・技能を身につけていることが望まれ、かつ全人的教育を受けるべく素養を身につけていることが不可欠です。その中でも、特に以下の能力を身につけることを望みます。

1. 国語については、他者の意見や考えを正しく理解し、自らの意見や考えを適切に表現する能力
2. 地理歴史・公民については、現在の社会情勢を理解でき、良識ある公民として行動する能力
3. 数学については、基本的事項を理解し、事象を論理的にとらえ、解釈できる能力
4. 理科については、自然科学の基礎的知識を持ち、事象を科学的に理解する能力
5. 英語については、積極的に国際社会の人々とコミュニケーションを図ろうとする意識を持ち、相手の考えを正しく理解し、自分の意見を適切に伝えるコミュニケーション能力
6. 情報については、科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

優れた看護の専門家を育成するために、医学部看護学科の教育目的・教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施し、学修成果を評価します。

1. 教養教育、看護専門基礎教育、看護専門教育からなるカリキュラムを編成し、専門知識と技能の修得を可能にする。
2. 自律的学修能力と応用能力を養うために、情報リテラシー教育、問題解決型学習、臨地実習を通じて、問題発見能力と推論・解決能力の向上を図る。
3. 教養教育、医療・看護倫理教育、コミュニケーション学習、医療安全教育を通じて、豊かな人間性と高い倫理観を育む。
4. 総合科学教育、看護専門基礎教育、看護専門教育、及び看護研究を通じて、深い洞察力と科学的探究心を育成する。
5. 教養教育や看護専門教育を通じて、国際社会や地域社会に貢献するための看護実践能力を育む。

学修成果については、各科目のシラバス「成績評価」欄に記載されたとおり、責任教員が筆記試験やレポート、授業態度等で評価します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

医学部看護学科の教育課程において、以下の資質と能力を身につけ、学修目標に達したと認められる者に学士（看護学）の学位を授与します。

1. 専門知識と技能
看護学に関する基本的な知識と技能を身につけている。
2. 自律的学修能力と応用能力
最新の知識を習得する習慣を身につけている。
看護学における問題を抽出し、必要な情報を収集・分析して解決策を見出すことができる。
3. 豊かな人間性と高い倫理観
豊かな人間性、高い倫理観及びコミュニケーション能力を身につけ、対象となる人の立場や視点に立って看護を実践できる。
4. 科学的探究心
深い洞察力を身につけ、論理的思考ができる。
看護学に対する研究の視点と科学的探究心を持っている。
5. 社会貢献力
国際社会や地域社会に貢献するために必要な資質を身につけている。

令和7年度入学者選抜における入試方法等の変更点について

①大学入学共通テストの受験を要する教科・科目の変更

大学入学共通テストの受験を要する教科・科目について、下記のとおり変更します。

教科	科目	科目選択の方法
国語	『国語』	必須
地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	左の5科目のうちから1科目を選択
公民	『公共、政治・経済』 『公共、倫理』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目のうちから1科目を選択
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』	「地学基礎」を除いたうち2つを選択 又は 『物理』、『化学』、『生物』のうちから1科目を選択
外国語	『英語』（リスニングを含む。）	必須
情報	『情報Ⅰ』	必須

※詳細は、23 ページ「Ⅱ 出願資格」を参照してください。

②大学入学共通テストと個別試験等の配点の変更

大学入学共通テストと個別試験等の配点について、下記のとおり変更します。

区 分	国語	地 歴	公 民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	合 計
大学入学 共通テスト	100	50		50	50	100	25	—	—	375点
個別試験	—	—		—	—	—	—	200	150	350点

※詳細は、24 ページ「Ⅴ 選抜方法」を参照してください。

令和7年度学校推薦型選抜学生募集要項 医学部看護学科

I 募集人員

20名（海外教育プログラム特別入試若干名及び社会人入試若干名を含みます。）

II 出願資格

高等学校（日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を含みます。以下同じ。）若しくは中等教育学校（以下「高等学校」という。）を令和7年3月卒業見込みの人又は令和6年3月以降に卒業した人で、令和7年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験し、かつ、「**IV 推薦の要件**」のすべての要件を満たす人。

学科	教科	科目	科目選択の方法	科目数
看護学科	国語	『国語』	必須	6教科 6科目
	地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	左の5科目のうちから1科目を選択	
		公民		
	数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	左の2科目のうちから1科目を選択	
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』、『化学』、『生物』	「地学基礎」を除いたうち2つを選択 又は 『物理』、『化学』、『生物』のうちから1科目を選択	
	外国語	『英語』（リスニングを含む。）	必須	
	情報	『情報Ⅰ』	必須	

注 1 地理歴史、公民において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を利用します。したがって、本学が指定した科目以外の科目（『地理総合／歴史総合／公共』）を「第1解答科目」として受験した場合、本学への出願資格は「なし」となりますので注意してください。

2 数学において2科目受験した場合には、高得点の科目の成績を利用します。

3 理科において2科目受験した場合には、「第1解答科目」の成績を利用します。したがって、本学が指定した科目以外の科目（『地学』又は『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2つ選択したうち「地学基礎」を含む）を「第1解答科目」として受験した場合、本学への出願資格は「なし」となりますので注意してください。

4 旧教育課程の経過措置は、26ページ「X 旧教育課程履修者等に対する経過措置について」を参照してください。

III 推薦人員

学校長が推薦できる人数は、1校につき**3名以内**とします。

IV 推薦の要件

- (1) 本学医学部看護学科のアドミッション・ポリシーに該当する人
- (2) 高等学校における調査書の全体の評定平均値が3.8以上の人で、人物が優秀、健康であり、学校長が責任をもって推薦できる人
- (3) 合格した場合は、入学することを確約できる人

出願手続については、募集要項1ページをご確認ください。

看護学科

V 選抜方法

- (1) 大学入学共通テスト、小論文、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力やその他の資質を総合的に評価し、合格者を決定します。
また、本学個別試験において、いずれかの成績が著しく悪い場合は不合格とすることがあります。

(2) 配点

区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	合 計
大学入学 共通テスト（注）	100	50		50	50	100	25	—	—	375点
個別試験	—	—		—	—	—	—	200	150	350点

- (注) 1 国語、地理歴史・公民、数学、理科は大学入学共通テストの得点に 1/2 を掛けてそれぞれ 100 点、50 点、50 点、50 点満点に換算します。また、情報は、大学入学共通テストの得点に 1/4 を掛けて 25 点満点に換算します。
2 大学入学共通テストの外国語（英語）は、リーディング 100 点、リスニング 100 点をリーディング 150 点、リスニング 50 点の 200 点満点に換算し、さらに 1/2 を掛けて 100 点満点に換算します。
なお、リスニングを免除された場合は、リーディングのみで 100 点満点とします。

VI 学力検査等の期日、時間割及び実施場所

(1) 実施日程

期 日	時 間	実施項目	備考
令和 7 年 2 月 1 日（土）	9:30 ～ 10:50	小 論 文	主として物事の判断、論理的思考、解決等の能力を評価するものです。
	11:20 ～ 17:00	面 接	面接とプレゼンテーションにより、将来、医学・医療に従事する人として活躍できるかどうかの適性を評価します。

(2) 実施場所

浜松医科大学（浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号）

(3) 留意事項

- ア 面接日程については、各人で相違するため別途通知します。
イ 試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので、十分な余裕をもって出かけてください。また、天候不良や事故等により、利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には、受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。
ウ 定期運行している交通機関の事故等により、各試験で定められた集合時間に間に合わない場合は、直ちに、浜松医科大学入試課（電話 053-435-2205、2216）に連絡するとともに、交通機関において、これを証明する書類の交付を受けてください。
エ 試験開始時刻から 30 分以上の遅刻者の受験は認められません。
なお、上記ウによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。

VII 合格発表

令和 7 年 2 月 12 日（水）17 時（予定）

本学講義実習棟前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、令和 7 年 2 月 12 日（水）以降に合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

また、本学ホームページ上でも合格者の受験番号を掲示します。

（URL: <https://www.hama-med.ac.jp/admission/index.html>）

なお、電話等による照会には一切応じません。

VIII 入学手続

入学手続書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

合格者は、入学手続書類を次の入学手続期間内に必着するよう「書留速達」で入学手続を行ってください。

入学手続完了後、提出書類及び入学料は返還できません。

(1) 入学手続期間

令和7年2月13日（木）から令和7年2月19日（水）17時まで（大学必着）

(2) 納付金

入 学 料 282,000 円（令和6年度実績）

授 業 料 前期分 267,900 円（令和6年度実績）

（年 額） 535,800 円（令和6年度実績）

授業料は入学後に納付していただきます。

納付金の改定が行われた場合は、改定後の金額を適用します。

IX 学校推薦型選拔出願者の一般選抜での受験

(1) 大学が定める大学入学共通テストの教科・科目を受験した人に限り、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの合計2つの大学・学部等に出願することができます。

(2) 本学の一般選抜を受験しようとする場合は、本学が定める大学入学共通テストの教科・科目を受験した人に限り可能です。受験を要する教科・科目（旧教育課程履修者等に対する経過措置を含む）及びその他の詳細については、「令和7年度浜松医科大学一般選抜学生募集要項」（令和6年10月下旬公表予定）を参照してください。

ただし、出願期間は学校推薦型選抜合格発表より前になりますのでご注意ください。

看護学科

X 旧教育課程履修者等に対する経過措置について

令和7年度大学入学共通テストにおいては、平成30年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程（以下「新教育課程」という。）に対応した出題とすることに伴い、新教育課程以外を履修した者（以下「旧教育課程履修者等」という。）に対し、地理歴史、公民、数学、情報については経過措置として、旧教育課程による出題科目を出題することとしています。

旧教育課程履修者等は以下の教科・科目を選択することができます。

学科	教科	科目	科目選択の方法
看護学科	国語	『国語』	必須
	地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『旧世界史A』、『旧世界史B』 『旧日本史A』、『旧日本史B』 『旧地理A』、『旧地理B』	左の15科目のうちから1科目を選択
	公民	『公共、政治・経済』 『公共、倫理』 『旧現代社会』、『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	
	数学	『数学Ⅰ、数学A』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』	左の8科目のうちから1科目を選択
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』、『化学』、『生物』	「地学基礎」を除いたうち2つを選択 又は 『物理』、『化学』、『生物』のうちから1科目を選択
	外国語	『英語』（リスニングを含む。)	必須
	情報	『情報Ⅰ』 『旧情報』	左の2科目のうちから1科目を選択

なお、『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』を選択解答できる人は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した人及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

災害救助法の適用地域で被災された方々の入学検定料の免除について

本学では、災害救助法適用地域で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るため、次のとおり入学検定料免除の特例措置を実施いたします。

1. 免除対象となる入学者選抜試験

本学が実施する入学者選抜試験

2. 免除の対象者

本学が実施する入学者選抜試験の志願者で、本人又は主たる家計支持者が災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失のり災証明書が得られる場合
- (2) 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

3. 必要書類

- (1) 「入学検定料免除申請書」(本学ホームページからダウンロードしてください)
- (2) 「り災証明書」(上記2の(1)に該当する方)
- (3) 死亡又は行方不明を証明する書類(上記2の(2)に該当する方)

4. 申請の方法

入学検定料の免除を受けようとする場合、出願前に下記連絡先まで電話連絡してください。

なお、本人又は主たる家計支持者の居住地が、福島第一原子力発電所事故により警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された場合にも免除の対象となることがありますので、お問い合わせください。

入学検定料の免除に関する問い合わせ先

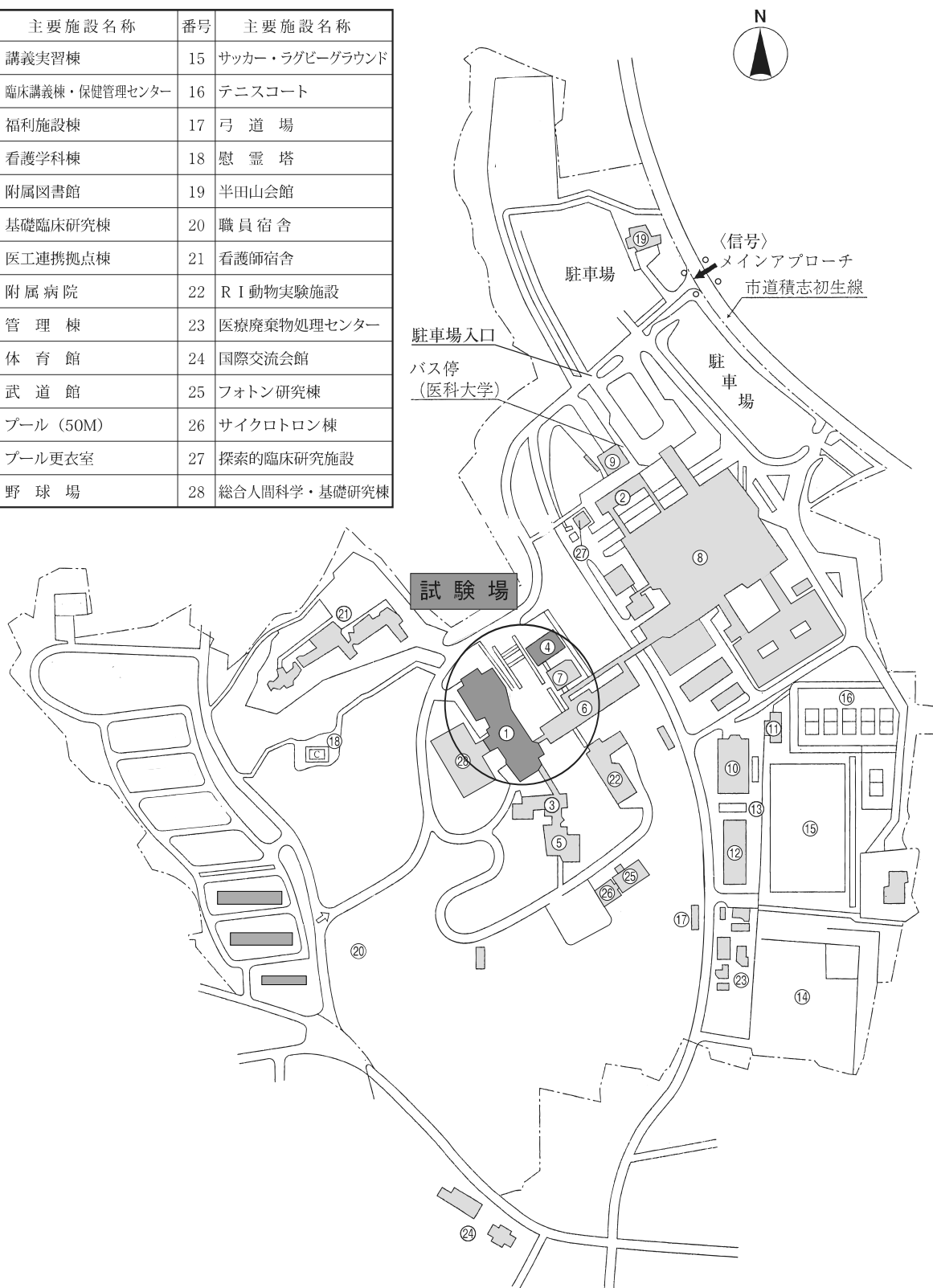
浜松医科大学入試課入学試験係 電話 0 5 3 - 4 3 5 - 2 2 0 5

詳細については下記 URL よりご確認ください。

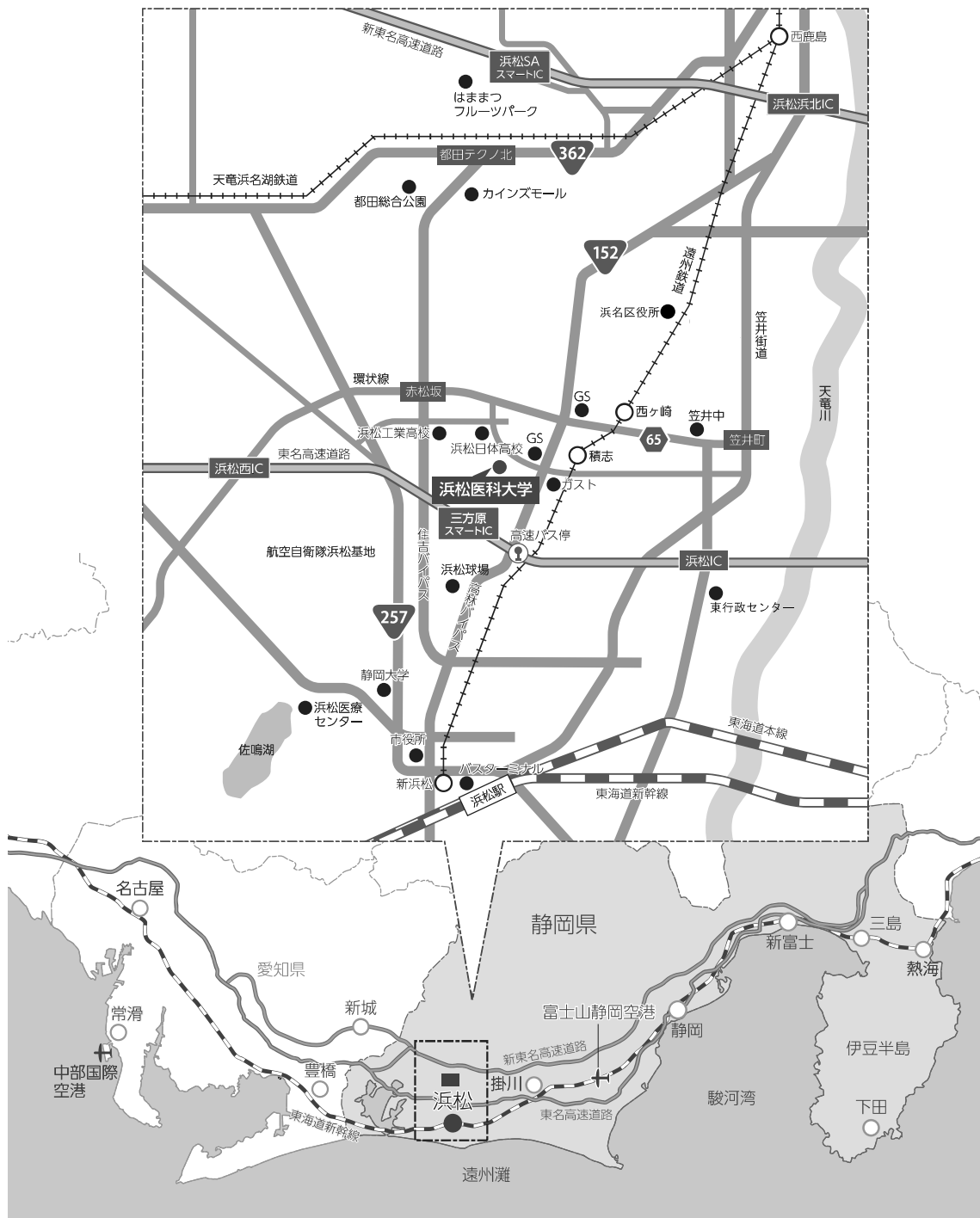
URL : <https://www.hama-med.ac.jp/admission/kenteiryout.html>

キャンパス案内

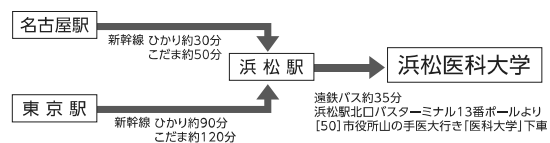
番号	主要施設名称	番号	主要施設名称
1	講義実習棟	15	サッカー・ラグビーグラウンド
2	臨床講義棟・保健管理センター	16	テニスコート
3	福利施設棟	17	弓道場
4	看護学科棟	18	慰霊塔
5	附属図書館	19	半田山会館
6	基礎臨床研究棟	20	職員宿舎
7	医工連携拠点棟	21	看護師宿舎
8	附属病院	22	R I 動物実験施設
9	管理棟	23	医療廃棄物処理センター
10	体育館	24	国際交流会館
11	武道館	25	フォトン研究棟
12	プール(50M)	26	サイクロترون棟
13	プール更衣室	27	探索的臨床研究施設
14	野球場	28	総合人間科学・基礎研究棟



浜松医科大学位置図



交通(新幹線・バス)



※ひかりは一部のみ浜松駅停車

自動車

